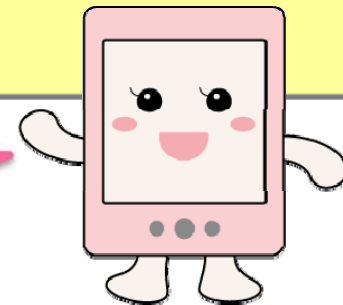


タイプCの実践コンテンツ

【目次】

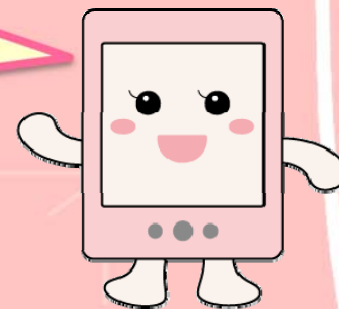
- ネットショッピングとは
- 安全に利用するために ～商品の購入時と購入後～
- デジタルコンテンツの購入方法
- 様々なインターネットサービス
- よくあるトラブルと対処方法
- ネット詐欺と対処方法

インターネット上で金銭のやりとりを行う上での注意点などを学びましょう！



ネットショッピングとは

ネットショッピングの概要と
注意点を説明します！



ネットショッピングとは

インターネットを通じて買い物ができるサービスのことです。

<仕組みとメリット>



- 子育て・介護や高齢等の理由で外出が難しい人
- お店に行く時間がない人
- 自宅に持ち帰るのが大変な重い商品、遠方でしか購入できない商品等を購入したい人

<注文の主な流れ>

- 1) 商品を検索し、欲しい商品を見つけて購入準備

※ その商品は本物ですか？評価は？

ネットショップには、街にあるお店と同様にあらゆる商品を扱う百貨店のようなショッピングサイトと専門用品を扱うショッピングサイトがあります。

最近では、大手メーカーであればネットショップを開設しているところも多いため、メーカーのネットショップで商品を購入する方法もあります。

- 2) 購入手続き

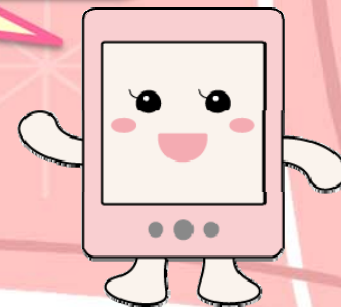
※ 注文した物かどうかを確認

- 3) 商品到着

※ 届いた商品は間違っていないですか？

安全に利用するために ～商品の購入時と購入後～

ネットショッピングを安全に利用するために、
ここでは主に、商品の購入前と購入後に
注意すべきことを説明します！




商品購入時の注意点(1)

販売元の信頼性を確認するためのポイントをみていきます。
下の図は、購入手続きにおける個人情報の入力画面の例です。

<個人情報の入力画面の例>

慎重に入力しましょう！

https://~ 

登録が必要です。以下の項目を埋めてください。

個人情報の取り扱いに関しては同社の「プライバシーポリシー」をご確認ください。([プライバシーポリシー](#) について)

名前

生年月日

クレジット番号

運営会社〇〇〇 住所: 〒..... 〇〇県〇〇市1-1 がいはう
連絡先: 03-... (電話)com (メール) (詳しくは [会社概要](#))

- URLが「https※1」から始まっているか
- ページ ^{かぎ} 上部に鍵マークがあるか

- 「個人情報保護方針」、「プライバシーポリシー」が定められているか
- 「プライバシーマーク※2」があるか

- サイトの運営主体の所在地や電話番号などが明記されているか
(それらの情報の明記は、法律で義務づけられています)

※1 https: 個人情報のデータを暗号化して送信する技術をもつ企業・団体が取得できるアドレスである。個人情報保護に配慮している企業・団体であることを示す。

※2 プライバシーマーク: 事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることを示すマーク。保護の体制について第三者機関である「一般社団法人 日本情報経済社会推進協会」から認定を受けていることを示す。

商品購入後の注意点(2)

個人情報を入力し、無事に取引が成立した場合でも、次のような点には気をつけましょう。

<申し込み確認メール内容例>

〇〇様

この度は、〇〇サイトより商品をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。

お客様のご注文内容は以下になります

商品名:おいしい〇〇水500m 6本パック
品数:2
合計:〇〇〇円
お支払い方法:クレジット支払い
お届け先:〒..... 〇〇県〇〇市1-1
お届け希望日:〇〇日18:00~21:00

なお、当社は返品を受け付けておりませんのでご了承ください。

.....

注文内容の確認

返品ルールの確認

確認画面などの印刷・保存
万が一トラブルが発生した際に証明書となる。

支払い方法

主な支払い方法をご紹介します。

①クレジットカード

クレジットカードの情報を登録すれば、インターネット上で決済ができます。



②代金引換(代引き)

商品の受け取りと引き換えに、運送会社に代金を支払います。



③銀行振り込み

販売元から指定された口座に代金を振り込みます。多くの場合、銀行で入金の確認がとれた後に商品が発送されます。

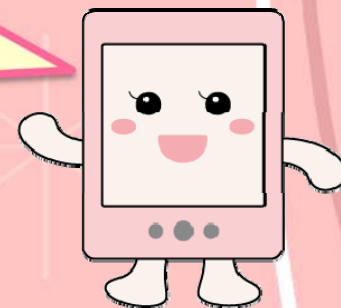


※このほか、コンビニ払いなどもあります。

デジタルコンテンツの購入方法

～物品以外のネットショッピング～

デジタルコンテンツの購入方法
について説明します。



物品以外のネットショッピング

ネットショッピングで購入できるのは、
郵送によって届く「物品」だけではありません。

郵送ではなく、インターネットで届く(ダウン
ロードできる)「デジタルコンテンツ」の存在も
忘れてはなりません。

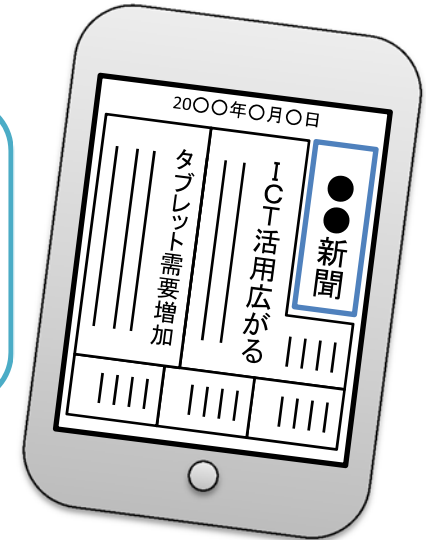
ここでは、「デジタルコンテンツ」の購入方法
について説明します。



デジタルコンテンツ(1)

デジタルコンテンツの種類

電子書籍、音楽、映画、テレビ番組、
教材、新聞 など



物品購入との違い

- 購入と同時に使用できる
- 支払いは基本的にクレジットカードのみ
- 購入の確認が簡単である(購入確認メールなどが来ない場合もある)

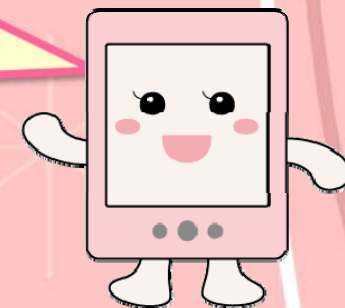
デジタルコンテンツ(2)

デジタルコンテンツ購入時に気をつけること

- しんらいせい信頼性の確認！
物品の購入時と同様、販売元の信頼性を確認しましょう。
- 違法コンテンツの購入に注意！
ちよさくけん著作権法違反等の商品ではないかを確認しましょう。
- 対応機器を確認！
自分が利用する機器で使えるかを確認しましょう。

様々なインターネットサービス

インターネットで提供されている
様々なサービスについて説明します。



インターネットサービス

インターネットサービスとは

- インターネット上で提供されているサービスで、天気予報や経路案内、動画や無料通話などがあります。
- インターネットサービスは日々進化しており、様々なサービスが提供されています。
- パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットなどでも利用できます。



注意点

- 有料のものも無料のものもあります。有料のものの方が機能がよい場合もありますが、購入する際はしっかりと見極めてから購入しましょう。
- サービスの中にはウイルスがひそんでいるなど、被害につながるケースもあります。
信頼しんらいできる提供元かどうかを確認しましょう。

オンラインゲーム

特徴

オンラインゲームとは、インターネット上で楽しむことができるゲームです。利用者は、インターネット上でいつでもどこでも入手して利用することができます（無料のものも有料のものもあります）。

また、SNS上で提供されているオンラインゲーム（ソーシャルゲーム）もあります。これは、ゲーム内で仲間を作って一緒に遊ぶことができる点が特徴です。

従来は、パソコンを利用するものが多くありましたが、近年はスマートフォンやタブレットで遊ぶユーザーがふえています。

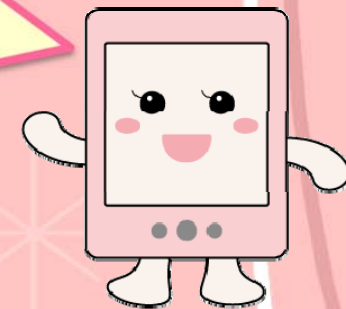
注意点

無料のゲームであっても有料ゲームに移行する場合や、課金などにより高額請求せいきゅうにつながる場合があります。



よくあるトラブルと対処方法

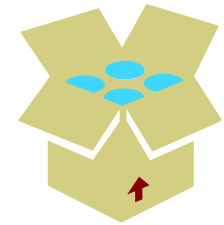
よくあるトラブルと注意点を説明します。
また、トラブルに巻き込まれた際の
対処方法も紹介します。



よくあるトラブル

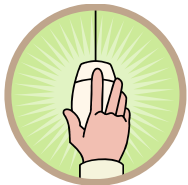
1. 届いた商品がイメージと違う

ネットショッピングでは、直接商品を見るできません。届いた商品がイメージと違っていたり、本物だと思って注文したブランド品が偽物にせものだったりする可能性があります。



2. 操作ミスによる注文間違い

操作を誤あやまって別の商品を注文してしまったり、同じ商品を複数注文してしまうことがあります。



3. 商品が届かない

前払いで代金を支払ったにも関わらず、商品が届かない場合があります。相手が見えないため、信頼性しんらいせいを確認することが難しい場合があります。



安全に利用するための確認事項

トラブルをさけるためには、普段からさまざまな面で確認することが必要です。例えば、次のような事項について、確認しましょう。

1. 販売元の^{しんらいせい}信頼性

- ①営業実態^{じったい}を、新着情報の更新履歴などで判断します。
- ②「個人情報保護ガイドライン」等の規程により、個人情報がどのように取り扱われているのかを確認します。

2. 商品が届くまでの手続き

「ショッピングガイド」等の規約を読み、支払い方法や発送までにかかる日数、返品・交換の可否などを確認します。



トラブルへの対処法

ネットショッピングでトラブルにあったときは、一人で悩まず、周りの人や以下の相談窓口等に早めに相談しましょう。

相談窓口への連絡

<例>

- 消費生活センター
- 国民生活センター
- 通販110番（日本通信販売協会）

- しょうひしゃ消費者ホットライン
- 日本クレジット協会
- インターネットホットラインきょうぎかい協議会
など

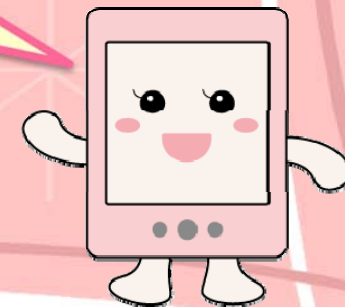
※最新の連絡先は、Webサイトで確認してください。

クレジットカード会社への連絡

何らかのかたちでクレジットカード番号やパスワードがもれてしまった可能性がある場合には、クレジットカード会社に確認・相談しましょう。安全のために、少し手間がかかっても、カードの再発行をお勧めします。

ネット詐欺と対処方法

「フィッシング詐欺」などのネット詐欺と
注意点について説明します。
また、被害にあった場合の対処方法に
についても説明します。



フィッシング詐欺^{さぎ}(1)

フィッシング詐欺とは

フィッシング詐欺とは、ユーザーのパスワード情報やクレジットカード情報を盗む詐欺のこと。

基本的な手口

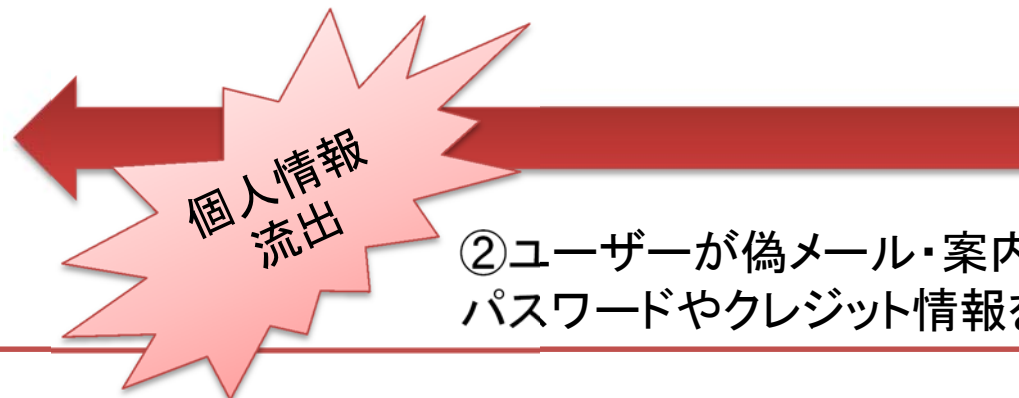


① 実在する企業をかた^{にせ}った偽メール・案内を送信する

●▲会社です。

<http://xxxxxxxx.xxx.xx>.

こちらにログインの上、必要な情報を入力してください。



② ユーザーが偽メール・案内の誘導^{ゆうどう}に従ってパスワードやクレジットカード情報を入力してしまう

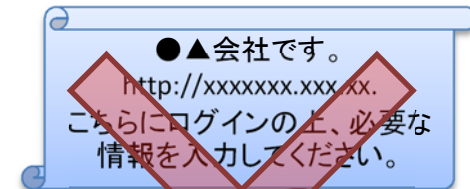
フィッシング詐欺(2)^{さぎ}

フィッシング詐欺の被害にあわないために

● 信頼できるWebサイトかを確認する

具体的には、URLを確認します。

Webサイトの見た目は真似^{まね}できても、URLを真似することはできません。



● 個人情報^{しんらいせい}を安易に入力しない

信頼性に少しでも疑いがある場合は決して個人情報を入力しないようにしましょう。



その他のネット詐欺^{さぎ}

ワンクリック詐欺

インターネットの有料サービスに登録したと思わせて、架空請求^{かくうせいきゅう}をする

出会い系サイト詐欺

おとりのユーザーを使って、有料のサービスを利用させ続ける

情報商材詐欺

役に立たない情報を、有益^{ゆうえき}な情報に見せかけて売りつける

オークション詐欺

架空の出品で落札者から金銭をだまし取ったり、出品者から商品をだまし取ったりする

偽ソフト詐欺

ウイルスに感染^{かんせん}したと思わせて、偽^{にせ}のセキュリティソフト(偽ソフト)を購入させる

ネット詐欺にあつてしまったら

ネット詐欺にあつた場合、Webサイトの信頼性が自分では確認できない場合など、気になることがあつた場合には、例えば次のような関係機関に相談しましょう。

国民生活センター、最寄りの消費生活センター

<http://www.kokusen.go.jp/map/>

情報処理推進機構 (IPA)

「情報セキュリティ安心相談窓口」

<http://www.ipa.go.jp/security/anshin/>

警察のサイバー犯罪相談窓口

<http://www.npa.go.jp/cyber/soudan.htm>

このコンテンツはこれで終了です

それでは、
次に進みましょう！

